

日南市都市計画マスタープラン
資料編



平成26年3月
宮崎県日南市

日南市

大島

〈表紙のデザイン〉

今回の日南市都市計画マスタープランにおける

「将来像(笑顔はじける まち 日南)」と「地域生活拠点」を象徴表現したものです。

※将来像と地域生活拠点は本編の「第3章 3.1 将来像と将来都市構造」を参照

目次

はじめに	1
1.資料編の役割と構成	2
2.地域区分等の解説	3
1章 都市計画の基礎情報	5
1.1 人口の集計に当たって	6
1.1.1 人口の集計単位	6
1.1.2 人口等の図化手法(建物周辺への着色)	8
1.1.3 人口推計の方法(コーホート推計)	9
1.1.4 人口の推計	13
1.1.5 高齢化人口の推計	16
1.1.6 本市の人口と高齢化の推移図	19
1.2.本市の基礎データ	20
1.2.1 土地利用および主要施設	20
1.2.2 人口動向	25
1.2.3 交通状況	29
1.2.4 観光動向	35
1.2.5 産業の状況	36
1.2.6 建物・基盤の状況	41
1.2.7 景観計画および歴史関係保存地区	47
1.2.8 防災に関する状況	50
1.3 都市施設の整備状況	58
1.3.1 都市計画道路	58
1.3.2 都市計画公園・緑地等	60
1.3.3.公共下水道	62
1.4 各種データの評価・分析と地域特性	64
2章 主要な都市計画に関する解析	67
2.1 都市計画区域等についての解析	69
2.1.1 都市計画区域等の指定要件	69

2.1.2 都市計画区域等の見直し候補地の抽出と解析	71
2.1.3 都市計画区域等の見直しパターン	74

2.2 用途地域についての解析	75
2.2.1 用途地域に関する基準・指定要件等	75
2.2.2 用途地域に関する「面積要件」「隣接要件」との照合	76
2.2.3 用途地域に関する「混在類型」との照合	79
2.2.4 用途地域に関する「人口密度」の状況	82

2.3 都市計画道路についての解析	85
2.3.1 都市計画道路に関する見直し基準	85
2.3.2 都市計画道路の整備状況	85
2.3.3 都市計画道路のアクセス機能に関する基礎情報	88
2.3.4 未改良都市計画道路のトラフィック機能に関する基礎情報	90
2.3.5 未改良都市計画道路の空間機能に関する基礎情報	92
2.3.6 未改良区間の基礎情報	92

2.4 都市計画公園・緑地についての解析	96
2.4.1 都市計画公園・緑地に関する配置基準等	96
2.4.2 都市計画公園・緑地の整備状況と誘致圏状況	96
2.4.3 都市計画公園・緑地の充足状況	98

2.5 公共下水道等についての解析	100
2.5.1 公共下水道等の整備状況	100

2.6 防災についての解析	104
2.6.1 津波防災の避難関連施設の整備状況	104

2.7 分散7拠点の状況(コンパクトシティの実現にむけた基本情報)	106
-----------------------------------	-----

2.8 庁内ワーキングの実施	109
----------------	-----

2.9 市民との意見交換会	112
---------------	-----

3章 本編第3章「まちづくりの基本方針」の設定根拠 129

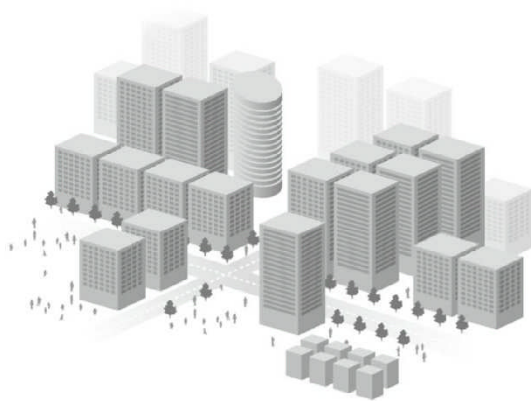
3.1.基本方針の主題ごとの設定根拠詳細(各種現況との重ね合わせ図)	130
3.1.1 将来都市構造「地域生活拠点」	131

3.1.2 将来都市構造「集落生活拠点」	136
3.1.3 将来都市構造「コアゾーン」	137
3.1.4 将来都市構造「主要な広域連携軸」	139
3.1.5 土地利用「生活活カゾーン」	140
3.1.6 土地利用「癒し産業ゾーン」	146
3.1.7 土地利用「生産供給ゾーン」	147
3.1.8 土地利用「観光振興重点推進スポット」	149
3.1.9 土地利用「各種開発優先検討エリア」	150
3.1.10 基盤整備「戦略的道路整備優先路線」	152
3.1.11 基盤整備「整備推進公園・緑地」	156
3.1.12 景観形成「都市景観形成地域」	157
3.1.13 景観形成「日南海岸景観形成地域」	158
3.1.14 景観形成「山地景観形成地域」	160
3.1.15 景観形成「道路景観形成軸」	161
3.1.16 景観形成「河川景観形成軸」	162
3.1.17 景観形成「歴史的まちなみ景観活用エリア」	163
3.1.18 景観形成「文化的景観活用エリア」	163
3.1.19 景観形成「沿道景観誘導促進区間」	165
3.1.20 防災「防災避難拠点施設等（暫定）」	167
3.1.21 防災「※配置想定根拠エリア（2km圏）」	167
3.1.22 防災「緊急用道路等整備優先区間」	167

巻末資料

171

巻末-1 将来人口の推計結果表（「町丁単位」の「男女別」「年齢別」推計結果）	172
巻末-2 市民意見への対応方針	193

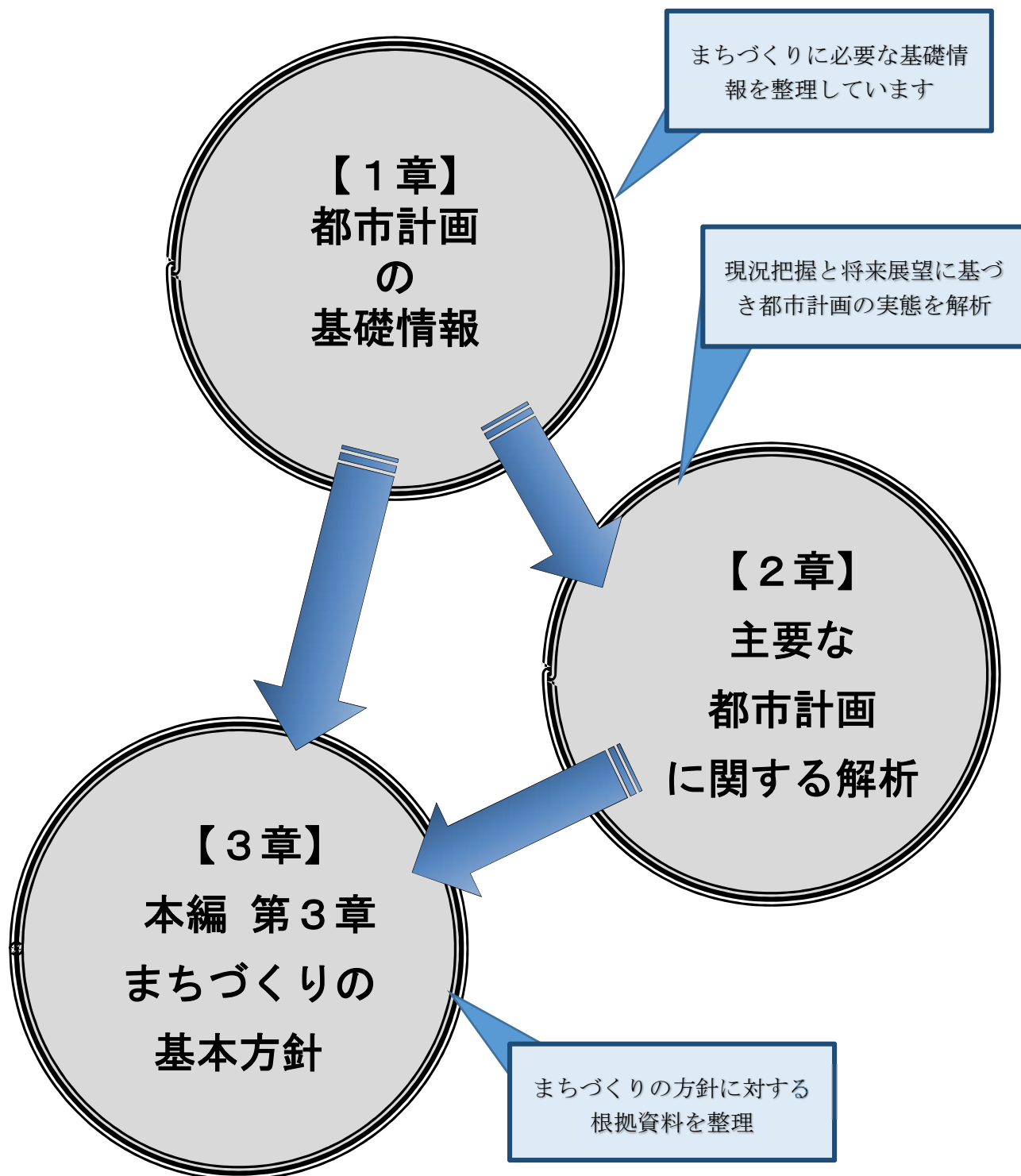


はじめに

1. 資料編の役割と構成

本資料編は、都市計画マスタープラン（以下「都市マス」と称す）の策定のための分析として、加工した基礎資料を極力「オンザマップ」となるように整理したものであり、データストック集としてまとめたものである。さらに、本編における方針決定の根拠や今後各課等において各種施策を検討する上での判断材料としての活用を目指して作成したものである。

したがって、本資料編の構成は「1章 都市計画の基礎情報」「2章 主要な都市計画に関する解析」および「3章 まちづくりの基本方針」として整理したものである。



2. 地域区分等の解説

都市マスでは地域の特性を判断するため、分析単位を「7 地域区分」「地域細分（小学校区相当）」、「都市計画区域」および最小単位として「町丁界 H17CMS」とした。

CMS（Census Mapping System）とは、地図情報と統計情報を統合処理するために総務省統計局が開発した地理情報システムで、国勢調査などの人口データが地図データと共に町丁単位で整理されている。

そのため、本計画では、地域情報等を効率的に集計し分析が可能である H17CMS をデータ集計・分析の最小単位とした。

本計画での集計・分析単位の区域を以下に示す。

